

史料群名	ひわさ 日和佐漁業協同組合文書	旧所蔵者	日和佐漁業協同組合長
探訪時住所	徳島県海部郡日和佐町		
現在の住所	徳島県海部郡美波町		
探訪年月	昭和26（1951）年		
史料の年代	明治8（1875）年～昭和24（1949）年	史料の 総点数	203点
年代の内訳	近代 203点	筆写稿本	なし
既刊行目録	なし		

収蔵にいたる経緯

探訪の書類によると寄贈とあるが、記載されている点数は「帳簿11点、フィルム3点」で、現在中央水産研究所に収蔵されている点数よりはるかに少ない。その理由は不明である。

史料群の概要

探訪地の日和佐は、近世～明治22年の村名は日和佐浦で、その後他村と合併して日和佐村となり、明治40年に日和佐町、平成18年に美波町（みなみちよう）となった。

日和佐浦は、近世以来漁業が盛んで、鰹、鯖、鯉、鯛、海苔など多様な漁獲があった。また、廻船業の拠点として文久3年には14艘の廻船が日和佐浦にあり、大坂、兵庫あるいは土佐へ物資を運んでいた。（日和佐町史）本史料群は、明治8年～昭和24年までの漁業組合文書としては長い期間の史料であり、明治、大正、昭和と満遍なく残っているのも特徴的である。明治8年「太政官布告第九拾五号」はいわゆる「海面官有宣言」である。対して、明治21年「旧慣行網代場之義ニ付上申」が徳島県知事宛に出されており、旧慣としての近世秩序への回帰が模索されている。本史料群には、他にも漁業権免許関係や公的な通知あるいは上申の文書が多く残されている。

